

浜松市教育委員会主催の教職員研修への協力

静岡大学教育学部附属浜松中学校

本校では、地域貢献のひとつとして、浜松市教育委員会主催の教職員2年目教員研修（H28まで）において、本校を会場として提供し、公開授業と教科協議会を開催している（本年度から5年経験者研修に移行）。その際、本校教員のみならず、本校共同研究者となっている静岡大学の先生方も、当日の講師として参加している。

教職員として数年間の経験を振り返り、これまでの成果や今後の指導のあり方について考え、指導技術の向上を図る機会となるように、本校教員が全10教科の授業を公開し、授業後は各教科で教科協議会を実施している。教科協議会は、浜松市教育委員会の指導主事が運営している。その中で本校教員は、研究内容や公開授業のねらいなどを説明し、受講者の質疑に応じている。その後、受講者が授業の持ち方・教材のとらえ方や、日頃の実践や指導する上で悩んでいることなどについて協議する中で、共同研究者が指導助言を行っている。

【国語科 公開授業の様子】

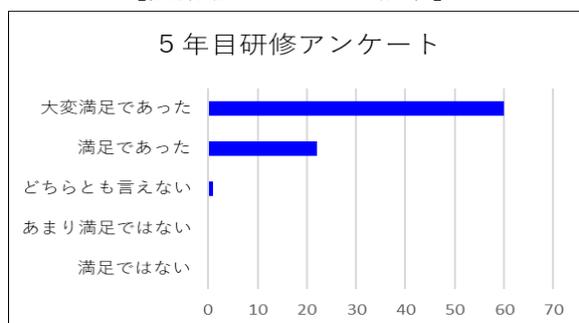


特に本年度は、新学習指導要領で求められている「資質・能力のとらえ方」や「主体的・対話的で深い学び」などについて、本校の研究内容との関わりや共同研究者の解説を協議の中に取り入れたことで、地域の若手教員の研修に貢献できた。

主催者の市教委が実施したアンケートでは、次のような感想を得た。

- 授業で使う教材や提示資料など、多くの事前準備がされていて驚きました。事前準備がしっかりなされている分、生徒たちも興味を持ちやすく、授業により集中して取り組んでいるように感じました。限られた時間の中で、教材研究と事前準備を行い、生徒の意欲を高めて授業を行っていきたいです。【理科受講者】
- 研修後にワークショップを行ったり、講師の先生のお話を聞いたことで、授業を考えるための視点を増やすことができました。【家庭科受講者】
- 普段見ることのできない中学の授業を参観させていただくことができ、小学校での学習のつながりを感じることができました。子供達の学習意欲にとっても感動し、教師の教材研究や日々の生徒指導の大切さを再確認しました。授業後のグループ研修や大学の教授の講話を聞き、研修が深まりました。ありがとうございました。【数学科受講者】

【受講者アンケート結果】



【教科協議会の様子】



以上のように、本校では、静岡大学と共同で教育研究の成果を地域に還元するとともに、地域の先生方の指導力向上に少しでも貢献しようと考えている。今後は、これまで実施していた2年目研修も受け入れる方向で教育委員会と調整を図ろうと考えている。

静岡大学教育学部附属浜松中学校
連絡先 053-456-1331
担当 林 利幸 (副校長)